

中期目標の達成状況に関する評価結果

国立大学法人豊橋技術科学大学

法人番号：48

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 IV その他の目標</p> <p>2. 中期目標の達成状況 (1) グローバル化に関する目標</p> <p>小項目4-1-2 中期計画4-1-2-1</p> <p>【原文】 (1) グローバル化に関する目標 (中項目4-1)</p> <p>【評価結果】<u>中期目標の達成に向けて順調に進んでいる</u></p> <p>小項目4-1-2 判定【3】<u>中期目標の達成に向けて進捗している</u></p> <p>≪特記事項≫ (特色ある点) 「グローバル技術科学アーキテクト養成コース (GAC)」の構築… (略) …増加している。(中期計画4-1-2-1)</p> <p>中期計画4-1-2-1 判定【2】<u>中期計画を実施している</u></p> <p>【申立内容】 【修正文案】の通り変更願いたい。</p> <p>【修正文案】 (1) グローバル化に関する目標 (中項目4-1)</p> <p>【評価結果】<u>中期目標の達成に向けて計画以上の進捗状況にある</u></p>	<p>【対応】 原案のとおりとする。</p> <p>【理由】 当該小項目達成に向けた取組や活動、成果からみて、「優れた実績を上げている」とまではいえない。 また、当該中期計画に係る取組がなされていることが達成状況報告書等から確認できるものの、「優れた実績を上げている」とまではいえない。</p>

小項目4-1-2 判定【4】中期目標の達成に向けて進捗し、優れた実績を上げている

《特記事項》

(優れた点)

「グローバル技術科学アーキテクト養成コース (GAC)」の構築… (略) …増加している。(中期計画4-1-2-1)

中期計画4-1-2-1 判定【3】中期計画を実施し、優れた実績を上げている

【理由】

中期計画4-1-2-1に係る、留学生比率について、2015年度時点では、11.3% (254/2,244名)であったものが、2019年度時点では17.5% (363/2,071名)と、第2期中期目標期間と比べ、大幅に増加している(工学部・工学研究科)。

さらに、工学系大学の留学生割合(データ分析集(工学系)より)は、学士課程平均2.2%、修正課程平均8.4%であり、これと比較して、本法人(工学部・工学研究科一括)の17.5%は、極めて高い水準にある。

なお、教育に関する現況分析結果(案)の「教育活動の状況」について、「高い質にある(工学部)」、「特筆すべき高い質(工学研究科)」にあると判断いただいているが、その理由として、留学生の受入を積極的に行っている状況が掲げられており、「留学生割合は工学系でトップとなっている。(工学部)」、「外国人留学生数は、大幅に増加している。(工学研究科)」点を「優れた点」として評価いただいている。

これらを総合的に判断すると、中期計画4-1-2-1については、「判定【3】中期計画を実施し、優れた実績を上げている」が適

<p>切であり、留学生割合が増加している状況は、2020年を目途に留学生受入れ30万人を目指すという政府目標に寄与する「優れた点」としての評価が適切であると考えます。</p>	
---	--